

残ったごはんを簡単にできる！
ごはんのチーズせんべい



- 旬** の食材を使った **今月一品**
- 材 料** (4人分)
- ごはん……………200g
 - ピザ用細切りチーズ……………20g
 - ちりめんじゃこ……………20g
 - 若狭乾ワカメ……………適量

作り方

- ①乾燥ワカメを細かく砕いておく
- ②ごはん、チーズ、ちりめんじゃこを混ぜ合わせて一口大に丸め、ラップに包んで丸く押し広げる
- ③フライパンで表面がカリッと香ばしくなるまで両面を焼く
- ④①のワカメをふりかける

きらり

おばま 人

十月一日に放送が始まるNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」。小浜市でのロケと放送を記念し、五月に「ちりとてちんの会」が結成されました。市民を中心とした十五人のメンバーで、落語に関するさまざまな催しを企画、運営しています。

「結成の最も大きな要因は「ちりとてちん」ですが、文芸おばまが企画した昨年の桂三枝さん、今年三月の桂文珍さんの独演会がたいへん好評だったこともきっかけの一つです」と話すのは中心メンバーの一人、玉川正隆さん（43歳・羽賀）。



彦八祭りで小浜の特産品などを販売するメンバー

きらり落語の会

地域に落語文化を根づかせたい

「メンバーの年齢や職業はさまざまですが、地域に落語文化を根づかせたいという思いを持った人ばかりなので、すごくまとまりがあるんですよ。いいアイデアが浮かんだらすぐに行動するなど実行力もあります」

その言葉どおり早速、羽賀寺で行われた観音市ちりとてちんの連携協力のほか、七月三十一日には、はまかせ通り夜の市でお茶子クイーンコンテスト小浜予選を開催しました。

「優勝者の大江祐子さんが、九月二日に大阪市で行われた彦八祭りでの本選に出場し、みごと準優勝に輝いたんですよ。自分のことのようにうれしかったですね。また、小浜の特産品も販売してきましたし、大阪の人に小浜をPRできたと思います」と玉川さん。

近々の予定として、十月七日につき回廊、同十四日にはまかせプラザで寄席を計画しているそうです。

「商店街や社協と連携して落語を行うことで、まちの活性化の一翼を担えたらうれしいですね。そして、いずれは「ちりとてちん」の続編となるオリエタル落語を創作し、落語家にも上演してもらいたいです」。メンバーの夢はどこまでも広がります。

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人」（グループも歓迎）を紹介してください。 市長室 ☎ 53・1111 内線 325

短歌

音無川短歌会

朝風に稲穂が揺るる田面より
一声鳴きて青鷺の発つ
竜前 辻 彌生

地を這ひて生き物のごと被ひくる
霞の中の夜の峠路
池田 青木 哲子

期待して収穫に出向く夏野菜
けふも空籠持ちて帰りぬ
中の宮 中村志津子

俳句

小浜市俳句作家協会

カレンダー一枚めぐり深む秋
伏原 津田 時江

又しても柿に集る鳥の声
小浜浅間 小林咲世子

朝の虫はやつづれ鳴く厨かな
城内一丁目 杉田 興平

山柳

若狭湾川柳舎

ピチピチの笑顔を持っている海だ
小浜広峰 佐古しげの

欠点を見つけてからが好きになり
小浜酒井 清水 久子

シャボン玉飛んで五色の夢を抱く
千種二丁目 安藤ふみ枝

広告

広告

広告

広告

広告

広告